

1名分料金で
2人目無料

機械設計力強化の為の幾何公差設計法

- ◆日時: 2021年2月25日(木) 10:30~16:30
 - ◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社いながらセミナーを受けられます。
 - ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申し込みされた場合、1名につき49,500円(税込)
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 折川技術士事務所 代表 折川 浩 氏

【講演の趣旨】

安定した品質の製品開発を行なうためには、幾何公差を用いて形体の正しい定義をすると共に適切な公差値を設定して、部品のばらつき範囲内で設計意図通りに機能するような設計を行なえるスキルが設計者には必要です。

本講座では、実設計に有効かつ効果的な幾何公差の使用法を学んだ上で、公差値決定に必要な公差計算の基本を理解し、最後にそれらを結びつけて適切な公差値設定を行なった幾何公差図面を描けるようにする技術とノウハウの習得を目指します。

【プログラム】

1.幾何公差設計法の概要

- 1-1.設計の検証と妥当性確認
- 1-2.GD&T設計法

2.幾何公差の基礎

- 2-1.ものの形の崩れ
 - (1)図面と加工
 - (2)サイズ公差と2点間測定
 - (3)設計意図を反映した形体定義
- 2-2.幾何公差を用いた形体定義
 - (1)幾何公差の記号の意味と使い方
 - (2)基準としてのデータム
 - (3)TED(理論寸法)

3.公差計算の基礎

- 3-1.ばらつきの統計量
 - (1)一様分布と正規分布
 - (2)分散と標準偏差
 - (3)正規分布と不良率

3-2.ばらつきの定量化

- (1)単純加算(LS)と二乗和平方根(RSS)による計算
- (2)傾きを考慮した計算

4.幾何公差と公差計算

- 4-1.形体の幾何偏差と組立て誤差
 - (1)形状偏差の影響
 - (2)姿勢偏差の影響
 - (3)位置偏差の影響
- 4-2.公差計算の効率化
 - (1)幾何公差指示と公差計算
 - (2)幾何公差の読み替えテクニック

5.事例

- 5-1.設計意図を伝える図面
- 5-2.公差値の最適化

6.質疑応答

【質疑応答・名刺交換】

『幾何公差設計法【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送